

特別講演会(帰国子女の外国語保持& 2020年度大学入試制度改革)

開催のご案内 in シンガポール

2020年度より日本国内では大学入試制度が大きく変わりますが、何がどのように変わるのかという正確な情報は海外にお住いの皆様にとっても大きな関心事ではないでしょうか。また、お子さんが海外で身に付けた英語を帰国後も保持することも大きな課題です。

そこで、公益財団法人海外子女教育振興財団では、シンガポール補習授業校のご協力のもと、お子さんを通して保護者の皆さんを対象に特別講演会を企画いたしました。本講演では、当財団の帰国子女外国語保持教室アドバイザーで、文部科学省のグローバル人材育成プロジェクトの企画評価会議メンバーでもある言語学博士の服部孝彦教授が「帰国子女の言語喪失と保持」、「2020年度からの大学入試制度改革および最近の中学英語入試について」、の2部構成でお話するとともに、質疑応答の時間も設けます。この機会に是非ともご参加ください。



2019年10月26日(土) 13:35~16:10 ※2部構成。参加無料

●第1部「帰国子女の言語忘却と外国語保持について」 13:35~14:15

言語忘却とは何か？なぜ忘却してしまうのか？何をどういったプロセスで忘却が進むのか？保持するにはどうすればよいのか？

●第2部「2020年度の大学入試制度改革+中学英語入試について」 14:50~16:10

大学はどのタイミングで導入するのか？日本では2020年度より大学入試制度で教科ごとに具体的にどのように変わるのか？特に英語は実施形態を含めて大きく変わるが、導入される民間の資格・検定試験についてどういった特徴があるのか？

小学校における英語教育の取り組みおよび、すでに多くの私立中学校ではじまっている英語選択入試について。

※第1部と第2部の間に、JOES 保持教室の説明もあります。

【会場】シンガポール日本人学校クレメンティ校体育館

【対象】シンガポール日本人学校および補習授業校のご家族の皆様、およびシンガポール在住の日本人の皆様

【定員】300名

【お申し込み方法】シンガポール日本語補習授業校のホームページからオンラインで**10月22日(火)まで**にお申し込みください。

ホームページアドレス www.jss.edu.sg

講師プロフィール

服部 孝彦 先生

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女で、帰国子女を育てた父親でもある。言語学博士(Ph.D.)。米国ケンタッキー州立ムレー大学大学院客員教授等を経て現在、大妻女子大学・大学院人間文化研究科言語文化専攻教授、早稲田大学講師。国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、元NHK英語教育番組講師。主な著書に文部科学省検定中学英語教科書『ニューホライズン』(共著、東京書籍)他、著書161冊、学術誌発表論文122編、学会発表論文163編、教育誌執筆記事487編。今までの日本及び海外での英語教育、帰国子女教育、グローバル教育関係の講演回数は合計900回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を一年に何往復もしながら、米国の大学での講義、国際学会での研究発表及び講演活動を精力的にこなす。